

T O Y O K N I F E C O . , L T D .



東洋刃物株式會社

2016年3月期 第2四半期決算説明会

2015年12月7日

目次

1. 2016年3月期 第2四半期業績概要	・ ・ ・ ・ ・	2
2. 2016年3月期 業績予想および今後の展望	・ ・ ・ ・ ・	10
3. ご参考 当社について	・ ・ ・ ・ ・	18

2016年3月期 第2四半期業績概要

2016年3月期 第2四半期 決算概要

単位：百万円

	2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期 期初計画		2016年3月期 第2四半期				
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	対前年同期		対計画 増減率
							増減額	増減率	
売上高	2,540	100.0%	2,450	100.0%	2,377	100.0%	△163	△6.4%	△3.0%
売上総利益	676	26.6%	—	—	608	25.6%	△67	△10.0%	—
販売費及び一般管理費	493	19.4%	—	—	506	21.3%	13	2.7%	—
営業利益	183	7.2%	80	3.3%	102	4.3%	△80	△44.2%	28.0%
経常利益	162	6.4%	60	2.5%	82	3.5%	△80	△49.4%	37.2%
税金等調整前四半期純利益	162	6.4%	—	—	80	3.4%	△82	△50.4%	—
四半期純利益	131	5.2%	50	2.0%	66	2.8%	△64	△49.4%	32.5%
一株当たり四半期純利益（円）	13.13		5.01						

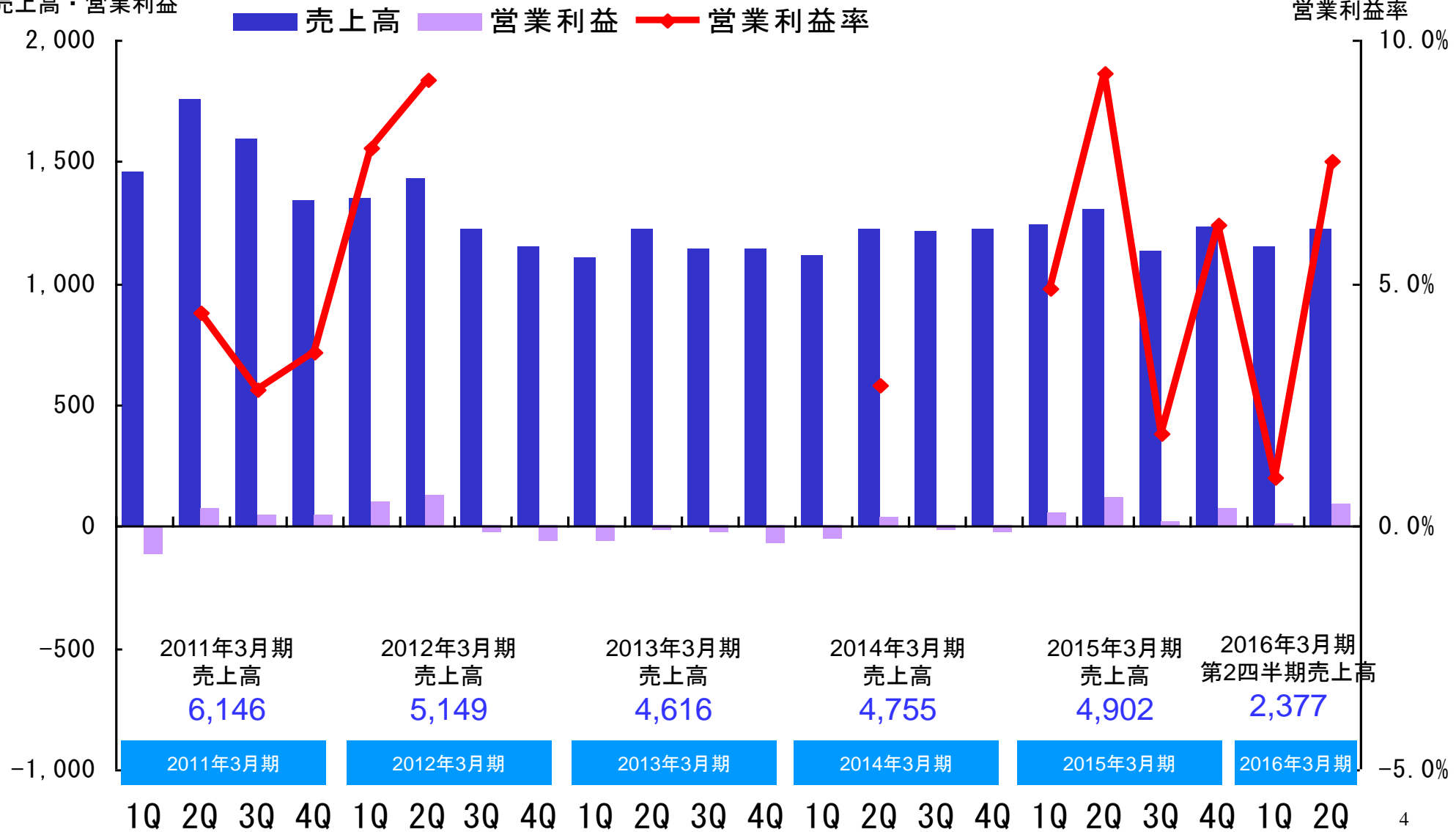
✓主力の情報産業用刃物は堅調に推移したものの、生産調整、在庫調整等の影響による鉄鋼用刃物、産業用機械・部品の低迷もあり、売上高は前年同期比6.4%減の2,377百万円。

✓第2四半期は売上高・利益共に改善するも、第1四半期の影響を補いきれず、102百万円の営業利益。

四半期業績の推移

単位：百万円

売上高・営業利益



2016年3月期 第2四半期 用途別売上高及びセグメント利益

単位：百万円

	2015年3月期 第2四半期			2016年3月期 第2四半期						
	売上高		セグメント利益	売上高				セグメント利益		
	金額	構成比		金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	2,300	90.6%	291	2,184	91.9%	△116	△5.1%	240	△50	△17.5%
情報産業用	605	23.8%		625	26.3%	20	3.3%			
鉄鋼用	392	15.5%		356	15.0%	△36	△9.2%			
製紙パルプ用	258	10.2%		278	11.7%	19	7.7%			
合板用	118	4.7%		106	4.5%	△12	△10.2%			
製本用	29	1.2%		18	0.8%	△11	△37.4%			
産業用機械・部品	504	19.9%		434	18.3%	△69	△13.8%			
その他	391	15.4%		363	15.3%	△27	△7.1%			
緑化造園	239	9.4%	16	192	8.1%	△46	△19.5%	7	△9	△58.0%
合計	2,540	100.0%	308	2,377	100.0%	△163	△6.4%	247	△60	△19.7%

✓機械刃物及び機械・部品

【売上高】主力の情報産業用、製紙パルプ用は堅調に推移したものの、需要先の生産調整、在庫調整等の影響により鉄鋼用、産業用機械・部品が低迷。
 【セグメント利益】売上高の減少により前年同期比17.5%減。

✓緑化造園

【売上高】管理業務、造園工事を中心に受注は順調に伸びたものの、前期後半の受注低迷が影響し、前年同期比19.5%減。
 【セグメント利益】売上高の減少が響き、前年同期比58.0%減。

2016年3月期 第2四半期 地域別売上高

単位：百万円

	2015年3月期 第2四半期		2016年3月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
国内	2,208	86.9%	2,151	90.5%	△57	△2.6%
除く緑化造園	1,968	77.5%	1,958	82.4%	△10	△0.5%
海外	332	13.1%	226	9.5%	△106	△31.9%
中国	166	6.6%	83	3.5%	△83	△50.0%
東南アジア	127	5.0%	111	4.7%	△16	△12.6%
その他	38	1.5%	31	1.3%	△7	△18.4%
合計	2,540	100.0%	2,377	100.0%	△163	△6.4%

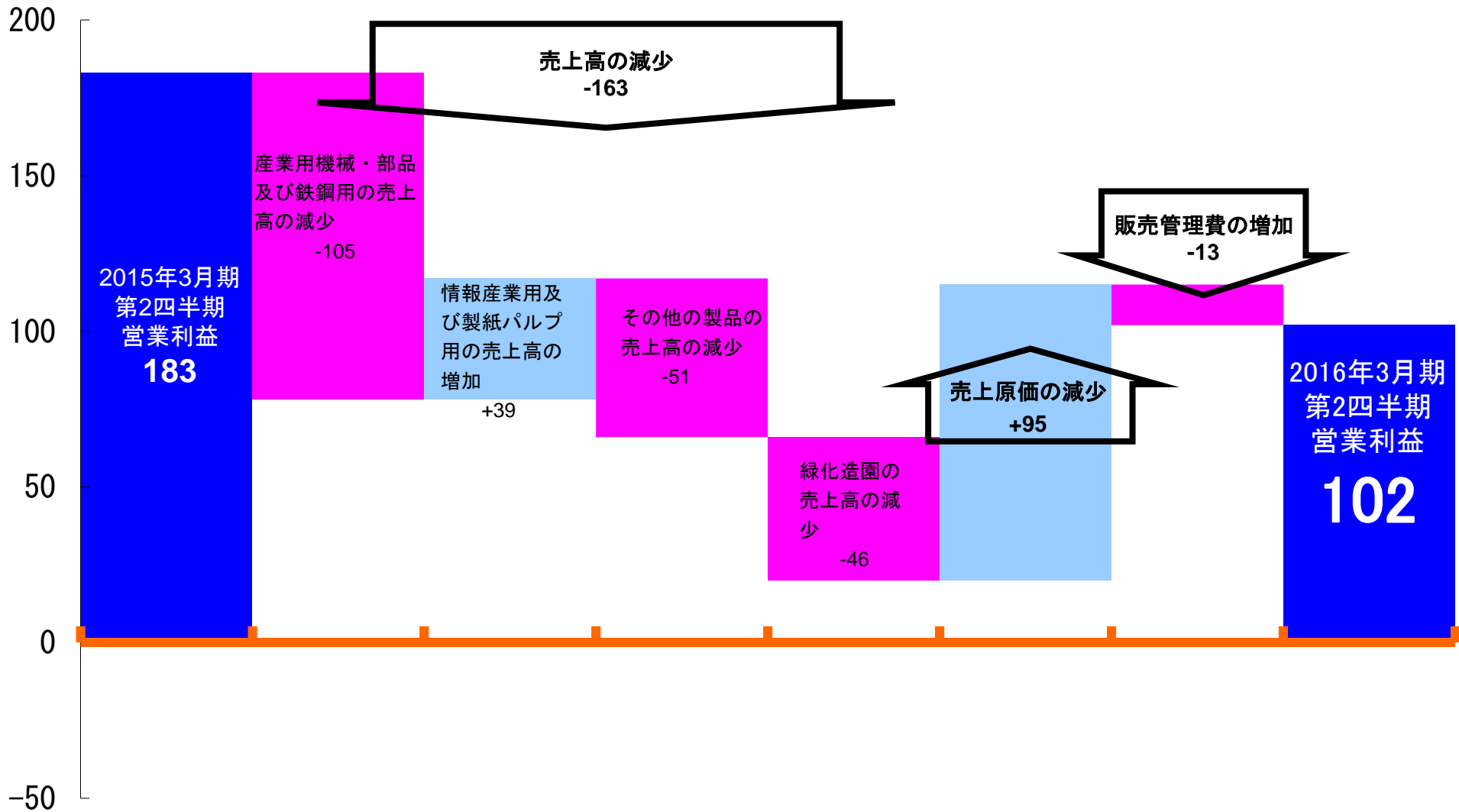
✓国内（除く緑化造園）は健闘したものの、海外の落ち込みが響く。

【国内】情報産業用、製紙パルプ用は堅調に推移するも、その他は在庫・生産調整に伴う需要減の影響を受け減少。

【海外】景気減速の影響を受けて、中国が大幅減収。

2016年3月期 第2四半期 営業利益（増減要因）分析

単位：百万円



2016年3月期 第2四半期貸借対照表

単位：百万円

	2015年3月期末		2016年3月 第2四半期末				主な要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
資産の部							
流動資産合計	3,601	63.7%	3,432	63.3%	△169	△4.7%	
現金及び預金	1,188	21.0%	1,063	19.6%	△124	△10.5%	売上減、借入金返済
受取手形及び売掛金	1,206	21.3%	1,179	21.7%	△27	△2.3%	
電子記録債権	278	4.9%	290	5.3%	11	4.2%	電子記録債権取引増
棚卸資産	898	15.9%	860	15.9%	△37	△4.2%	原材料、製品、仕掛品の減少
固定資産合計	2,056	36.3%	1,992	36.7%	△63	△3.1%	
有形固定資産	1,473	26.0%	1,423	26.2%	△49	△3.4%	減価償却による減少
投資有価証券	477	8.4%	468	8.6%	△9	△2.0%	
資産合計	5,658	100.0%	5,425	100.0%	△232	△4.1%	
負債の部							
流動負債合計	3,699	65.4%	3,501	64.5%	△198	△5.4%	
支払手形及び買掛金	562	9.9%	561	10.4%	△0	△0.1%	
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,771	49.0%	2,667	49.2%	△103	△3.8%	借入金返済
固定負債合計	1,100	19.4%	997	18.4%	△103	△9.4%	
長期借入金	185	3.3%	101	1.9%	△84	△45.6%	借入金返済
負債合計	4,800	84.8%	4,498	82.9%	△301	△6.3%	
純資産の部							
資本金	500	8.8%	500	9.2%	—	—	
資本・利益剰余金	286	5.1%	352	6.5%	66	23.1%	四半期純利益計上
その他の包括利益累計額	70	1.2%	72	1.3%	2	3.3%	
少数株主持分	1	0.0%	1	0.0%	0	1.7%	
純資産合計	858	15.2%	926	17.1%	68	8.0%	
負債及び純資産合計	5,658	100.0%	5,425	100.0%	△232	△4.1%	

2015年3月期 第2四半期 キャッシュフロー（CF）計算書

単位：百万円

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期		
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF	155	95	△60	△38.6%
投資活動によるCF	△4	△36	△32	—
（フリーCF）	151	58	△92	△61.2%
財務活動によるCF	△95	△195	△100	—
現金及び現金同等物の増減額	51	△127	△178	—
現金及び現金同等物の期首残高	778	1,030	251	32.3%
現金及び現金同等物の四半期末残高	830	902	72	8.7%

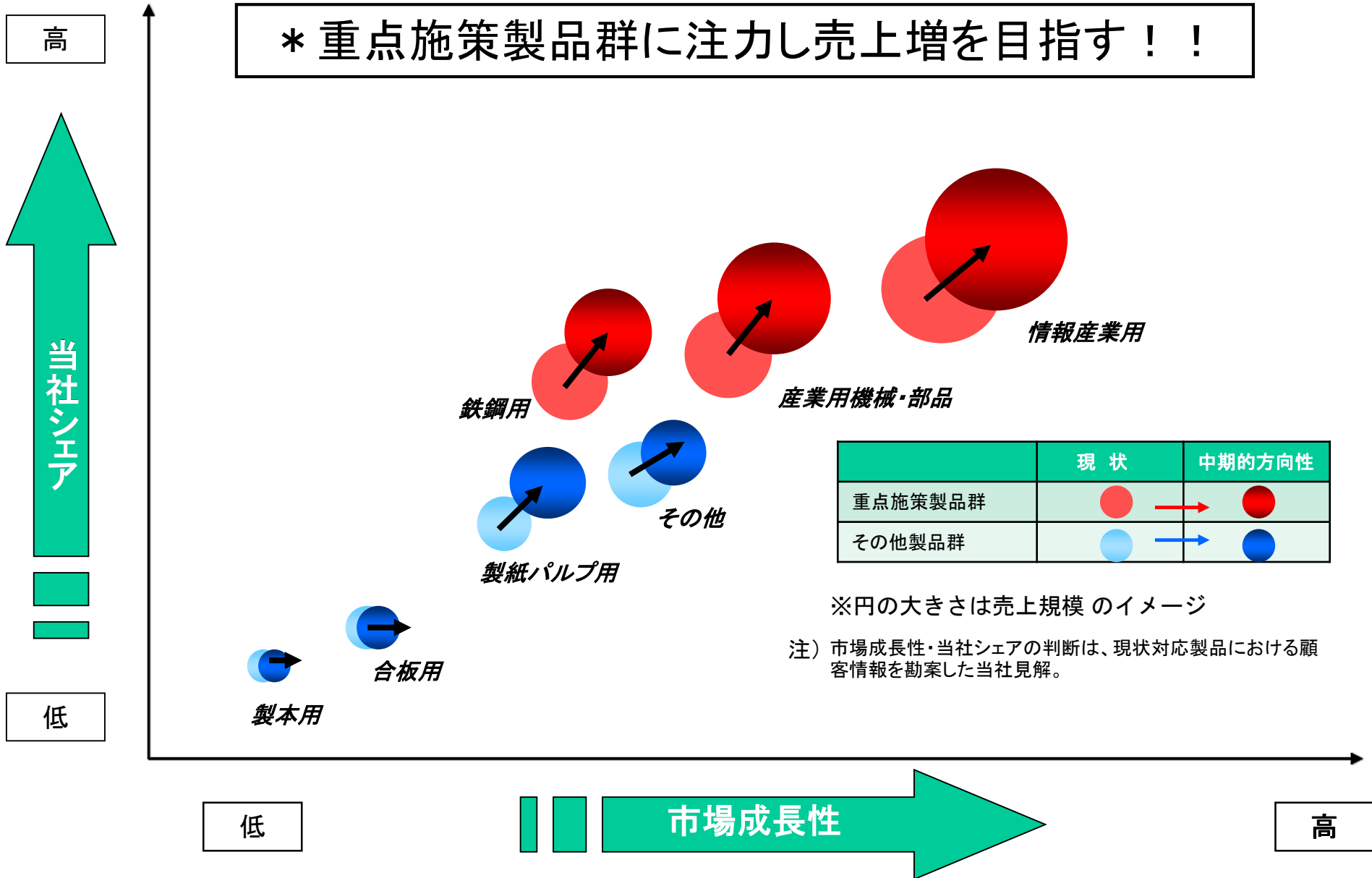
単位：百万円

	2015年3月期		2016年3月期	
	上期	下期	上期	下期（予想）
	金額	金額	金額	金額
設備投資	27	33	21	53
減価償却費	73	75	81	86
研究開発費	11	15	20	20

2016年3月期 業績予想および今後の展望

主要製品の市場性と当社シェアの中期的イメージ

*** 重点施策製品群に注力し売上増を目指す！！**



2016年3月期 業績予想

単位：百万円

	2015年3月期		2016年3月期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	4,902	100.0%	4,990	100.0%	88	1.8%
営業利益	282	5.8%	200	4.0%	△82	△29.1%
経常利益	241	4.9%	165	3.3%	△76	△31.5%
当期純利益	186	3.8%	135	2.7%	△51	△27.4%
1株当たり当期純利益（円）	186.91		135.30			

※一株当たり当期純利益は2015年10月1日実施の株式併合による影響を考慮しております。

- ✓主力の情報産業用の売上維持、製紙パルプ用、産業用機械の好調な需要を見込み、増収計画。
- ✓高付加価値製品の拡販、業務改善活動をさらに推進する一方、人件費増、材料費の値上げ、輸入を含めた仕入製品の価格上昇を勘案し減益の見込み。

2016年3月期 用途別売上高予想

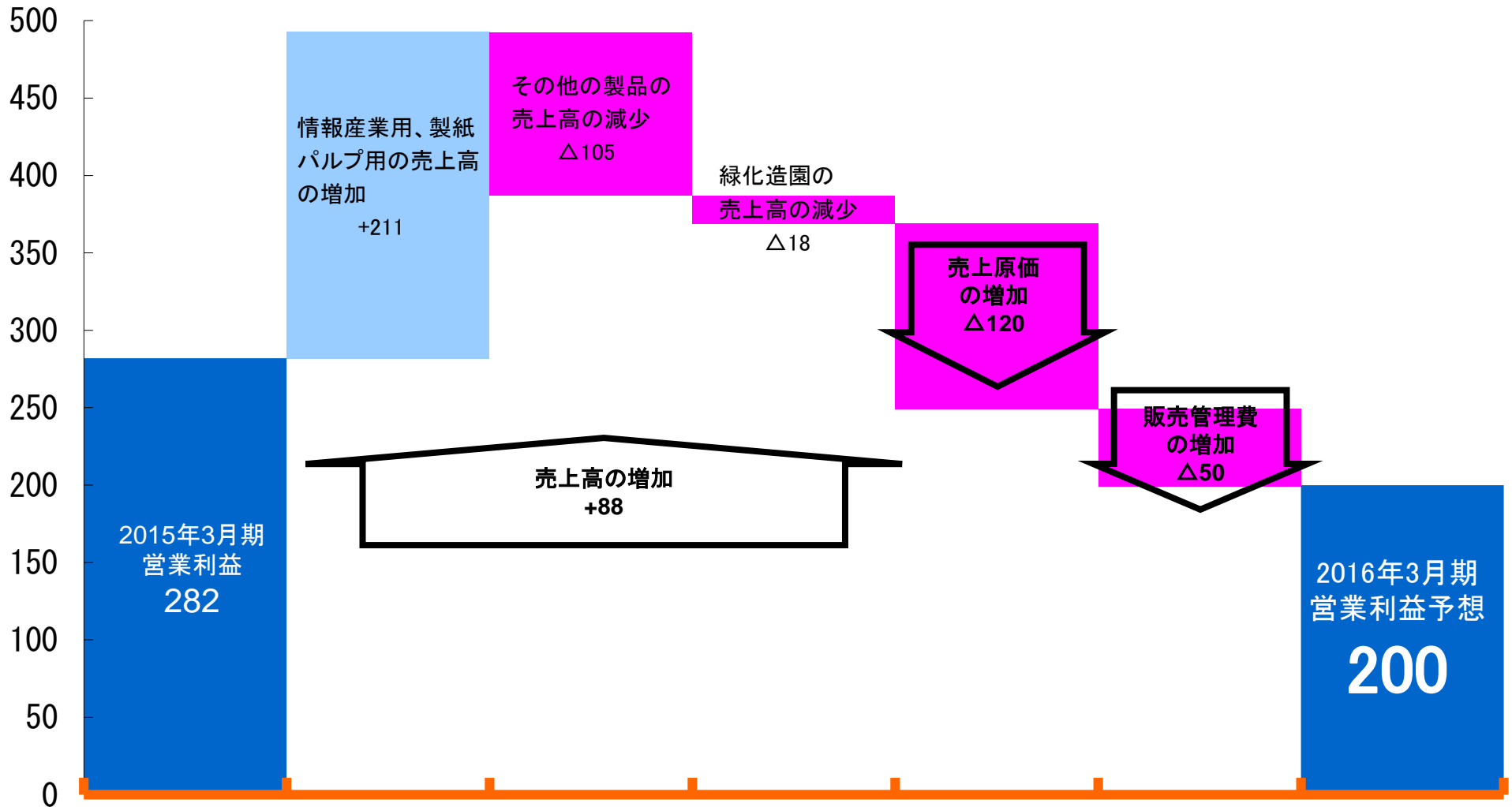
単位:百万円

	2015年3月期		2016年3月期 (予想)			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
機械刃物及び機械・部品	4,464	91.1%	4,570	91.6%	106	2.8%
情報産業用	1,180	24.1%	1,310	26.3%	130	11.0%
鉄鋼用	734	15.0%	705	14.1%	△29	△4.0%
製紙パルプ用	504	10.3%	585	11.7%	81	16.0%
合板用	243	5.0%	225	4.5%	△18	△7.4%
製本用	55	1.1%	45	0.9%	△10	△18.2%
産業用機械・部品	951	19.4%	940	18.8%	△11	△1.2%
その他	797	16.3%	760	15.3%	△37	△4.6%
緑化造園	437	8.9%	420	8.4%	△18	△4.1%
合計	4,902	100.0%	4,990	100%	88	1.8%

- ✓鉄鋼用は高精度品の需要増に期待はあるものの、今下期は生産・在庫調整が継続すると判断。
- ✓主力の情報産業用の差別化製品の需要増、製紙パルプ用の堅調な需要を取込む。
- ✓緑化造園は、採算性を念頭に造園工事及び管理業務への重点指向を継続し、工期の短縮にも取り組む。

2016年3月期 営業利益予想（増減要因）分析

単位：百万円



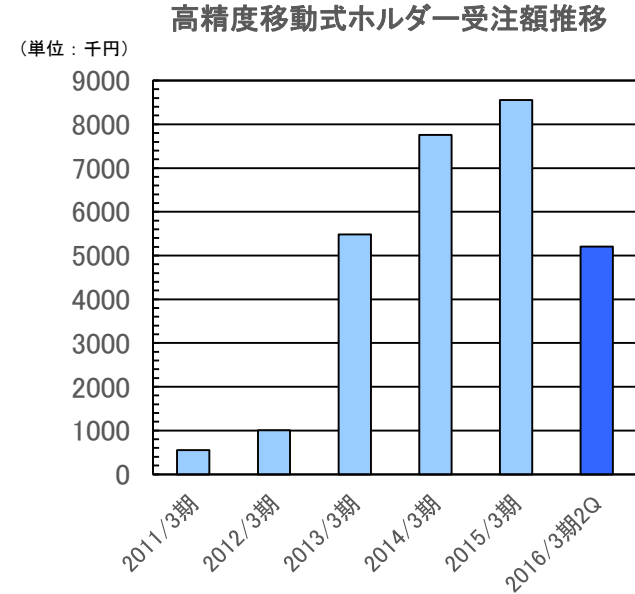
下期の重点施策 - 1

☆情報産業用

①高評価の簡易スリッターユニットのバリエーションを増やし、各企業の開発部門、各種研究機関への需要に応え、刃物へのシナジー効果を取り込む。【実績例：東北大学での軟磁性合金開発に寄与】



②みやぎ優れMONO認定品の高精度移動式ホルダーは着実に実績を伸ばしており、現在展開している提案営業を推進し、更なる拡販を目指す。

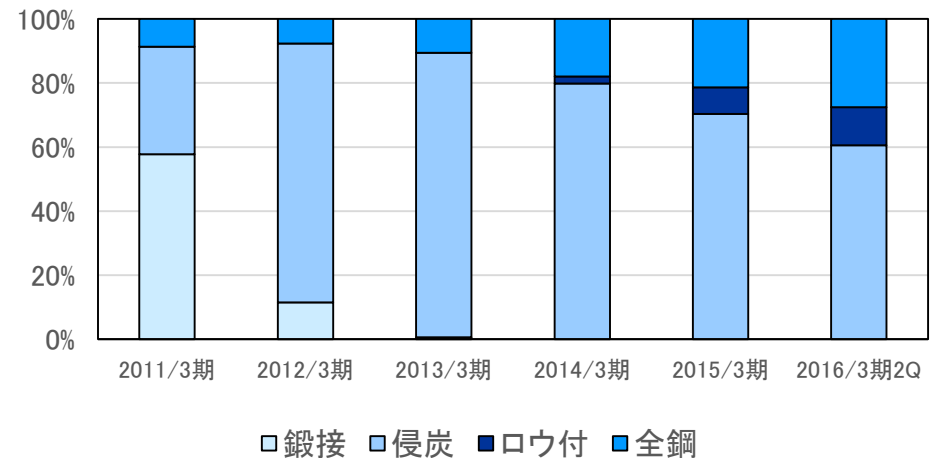


☆産業用機械・部品

①需要が旺盛な産業用機械（高効率モーター対応）の受注を確保する。

②設備投資増を見込み、四工法（浸炭・ロウ付・全鋼・鍛接）別需要に応じ営業活動を展開し、工作機械摺動面の拡販を図る。

工作機械摺動面の工法別売上高構成比



下期の重点施策 - 2

☆鉄鋼用

- ①電子部材に関連する高精度鉄鋼用丸刃の受注・売上拡大を図る。
- ②VA/VE提案を継続し、顧客の付加価値を高め売上増に繋げる。

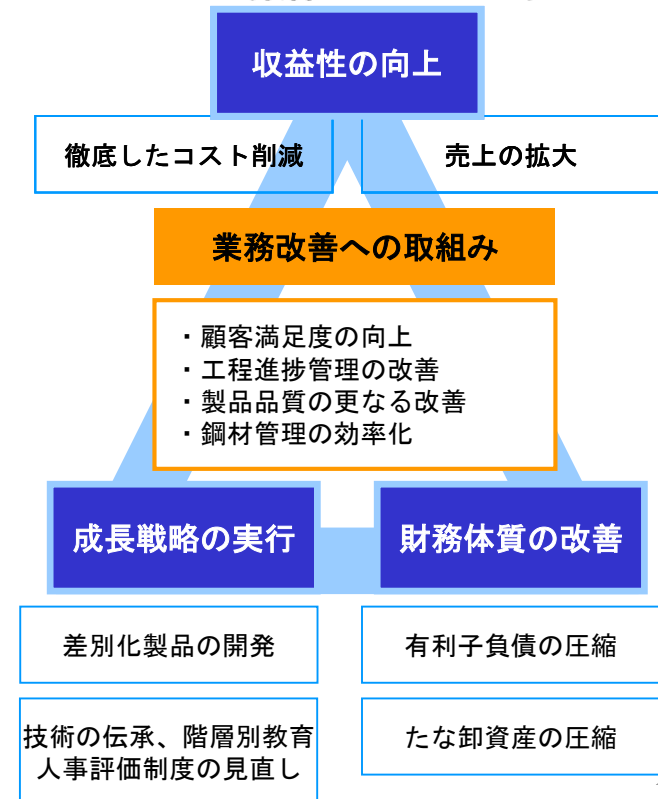
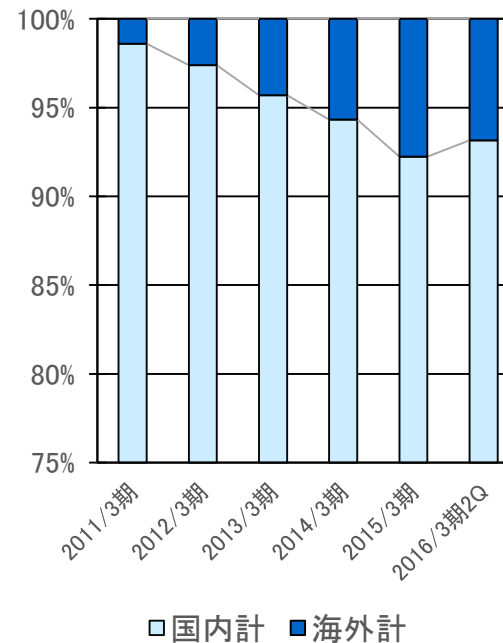


ライジング東洋プロジェクト2012

☆その他

- ①技術提携先との関係を強化し、木材関連刃物の輸入および三国間貿易を通して拡販を目指す。
- ②業務改善活動“ライジング東洋プロジェクト2012”の継続取り組みにより収益向上に繋げる。

国内外仕入製品売上高構成比



トピックス～産学協同研究開発

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の研究成果展開事業「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージⅡシーズ育成タイプ」に下記の研究開発テーマが採択されました。

「電子ビーム3Dプリンターによる高硬度 - 高韌性 - 高耐食性
革新的長寿命工業用刃物の開発」



東北大学 金属材料研究所との共同研究により開発を進行していきます！！

ご参考 当社について

会社概要

設 立	1925年8月9日
本社所在地	宮城県黒川郡富谷町富谷字日渡34番地11
代 表 者	代表取締役社長 高橋 允
事 業 内 容	情報産業用刃物、鉄鋼用刃物、製紙パルプ用刃物、製本用刃物、合板用刃物、 その他の工業用機械刃物、産業用機械・部品の製造・販売及び緑化造園
主要取引先	新日鐵住金、JFEスチール、日立化成、日東電工、東レエンジニアリング、THK、三井精機工業
従 業 員	242人(正規従業員)
上場取引所	東京証券取引所(第二部)
発行済み株式数	1,000千株 ※2015年10月1日株式併合実施後の発行済株式数です。
主 な 株 主	七十七銀行、常陽銀行、自社従業員持株会、みずほ信託銀行、仙台ビルディング、日本証券金融 大同特殊鋼、仙台放送、日本高周波鋼業

2015年9月末現在

沿革

年 月	概 要
1925年8月	各種工業用刃物の国内生産を目的として、東京市麴町で設立（資本金30万円）。
1925年9月	仙台工場落成。
1937年5月	大阪に第二東洋刃物設立後、10月に吸収合併、大阪工場として稼働開始。
1947年7月	本社を仙台市米ヶ袋に移転。
1960年10月	多賀城工場（宮城県多賀城市）を新設。
1961年11月	東京証券取引所 市場第二部上場。
1961年11月	株式会社トオハ設立。
1967年11月	熱研工業株式会社設立。
1970年8月	富谷工場（宮城県黒川郡富谷町）を新設。
1973年7月	東洋緑化株式会社設立。
1976年12月	合併にて韓国に東洋鋼業株式会社を設立。
1977年9月	大阪・多賀城・富谷各工場の充実のため、仙台工場を売却。
1977年9月	本社を仙台市港四丁目に移転。
1978年3月	資本金を5億円に増資。
1997年4月	富谷工場を増設。
2004年1月	中国現地法人 上海東優刃物国際貿易有限公司設立。
2011年7月	東日本大震災により被災したため、本社を宮城県黒川郡富谷町に移転。
2012年2月	大阪工場を富谷工場へ移転。富谷工場の一事業所として多賀城工場の操業を一部再開（多賀城事業所）。

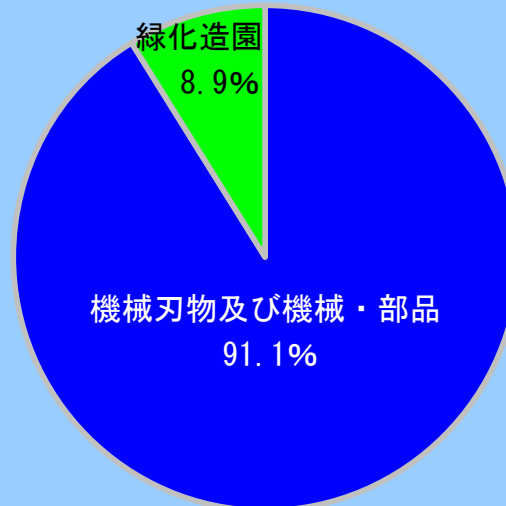
事業構成及び主要製品

国内機械刃物市場でトップクラスのシェア。

緑化造園



2015年3月期売上高
4,902百万円



合板用刃物、製本用刃物、その他



ベニヤナイフ



チップナーナイフ



ダイセット

製紙パルプ用刃物



段ボールカッター



コアカッター

鉄鋼用刃物



シャープレード



コールドシャー



スクラップチョッパーナイフ



超硬サイドトリマーナイフ



メカニカルエキスパンドダイス

情報産業用刃物



スリッターナイフ
(ゲベルタイプ)



サラバネ



スリッティングユニット



高精度移動式ホルダー



コーティングダイ

産業用機械及び部品



刃付平面研削盤



スライドウェイ



刃付丸刃研削盤

当社グループの概要

東洋鋼業（株）
（持分法適用関連会社）
✓韓国市場向け製造・販売

上海東優刃物国際貿易有限公司
（連結子会社）
✓中国市場向け販売

クアラルンプール支店、シブ事務所
✓東南アジア・オセアニア地域市場向け販売

（国内）

東洋刃物株式会社（本社：宮城県富谷町）
✓国内・海外市場向け工業用機械刃物の製造・販売、
産業用機械・部品の製造・販売

生産拠点	主要生産品
富谷	情報産業用・鉄鋼用・製紙パルプ用各種刃物、産業用機械・部品、その他
多賀城	産業用機械・部品、合板用刃物、その他

営業拠点	販売エリア
仙台	東北・北関東（一部）
東京	東京・関東・甲信越・静岡（一部） ・北海道・海外（米国、欧州、その他）
名古屋	東海・北陸・近畿（一部）
大阪	近畿・四国・中国（一部）
広島	中国・九州・四国（一部）

連結子会社	事業内容
（株）トオハ	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
熱研工業（株）	国内市場向け工業用機械刃物の製造・販売
東洋緑化（株）	緑化造園工事

**本件に関するお問合せは、
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。